



2011-12年度国際ロータリーのテーマ

こころの中を みつめよう博愛を 広げるために

RI 会長：カルヤン・バナルジー
2800 地区ガバナー：細谷 伸夫
ガバナー補佐：本多 信昭
会長：武田 寿美男 幹事：伊勢 和正
クラブ会報委員会
委員長：太田 幸一郎
委員：青山 恵一郎 木村 政則
金井 和義 相沢 そのみ

山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2800

第1919 回例会

2011-10/11 (火) 天気 (晴れ)

□ 例会場：ホテルキャッスル
□ 点 鐘：PM12:30 武田寿美男 会長

□ 司会進行 (SAA)：五十嵐恒男 君
□ ロータリーソング：「奉仕の理想」

会長挨拶



皆さんこんにちは。先週の例会後に理事会が行われましたのでご報告いたします。

- ・ 11月8日の細谷ガバナー公式訪問のタイムスケジュールについて検討しております。なお今年度はガバナー補佐を交えてのクラブ協議会を行っておりますので、当日ガバナー同席のクラブ協議会は行いません。
- ・ 11月15日出羽桜酒造への職場訪問例会のスケジュール。

・ 11月29日は日時場所変更で30日(水)夜、三津屋本店での新そばを食べる会。
この3点についての協議を行っております。

10月は職業奉仕月間です。ロータリーの職業奉仕の概念は他の奉仕団体にはありません。ですから職業奉仕は(ロータリーの金看板)と言われてきました。よく職業奉仕の研修セミナーでは丸一日勉強した記憶があります。〈ロータリーの樹〉〈決議23-34号〉〈四つのテスト〉などで職業奉仕について語られていることが多いようです。細谷ガバナーは職業奉仕は〈思いやりの心〉と言われております。皆さんはロータリーの職業奉仕をどのように理解しておりますでしょうか? 月間を機会にもう一度ロータリーの職業奉仕を思い出していただきたいと思えます。

お客様のご紹介をさせていただきます。本日のゲストスピーカーは、ホテル萬国屋代表取締役社長 石田照雄さん。国際親善奨学生、小林主茂さんです。どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告

伊勢 和正 幹事

1. 11月15日は職場訪問例会で天童市の出羽桜酒造を訪ねます。その後山寺風雅の国で食事例会です。当日は10:30ホテルキャッスル前をバスで出発します。だいたい14:00頃戻りの予定です。試飲もあります。いずれ出欠表いきますので是非ご参加ください。
2. また先の話ですが、12月20日はクリスマス家族例会です。大人5,000円小・中学生は1,000円です。どうぞご家族で予定に入れてください。

親睦委員会 菊地 賀治 君

12月22日の紅葉狩り例会の出欠をよろしくお願ひします。先週の土曜日に親睦委員会と武田会長とで下見に行きましたが大変すばらしいところでした。ぜひご家族連れでご参加ください。

金田 亮一 君

計画書と報告書の中で28ページの名簿のところで重複と欠落がありました。大変ご迷惑をおかけいたしました。申し訳ございません。

委員会報告

前年度幹事 鈴木 正康 君

当クラブがカウンセラーを引き受けましたロータリー財団国際親善奨学生の小林主茂さんをお連れいたしました。来年から国際親善奨学生として海外に行かれます。



2012-13年度 ロータリー財団1学年度国際親善奨学生 小林 主茂 君

皆さんこんにちは。本日はお招きいただき、またお話をさせていただく機会をいただきましてありがとうございます。東北大学経済学部で非常利組織論、営利追及を目的としない組織の管理について勉強しております。将来は国際開発と人道援助の仕事をしたと考えております。若輩者ですがよろしくお願いいたします。

ニコニコBOX 青山治右衛門 君

伊勢 和正 君 名簿の件では校正を担当いたしました。迷惑をおかけいたしました。

金田 亮一 君 幹事の責任ではなくオペレーターのミスのおようです。大変申し訳ありません。

相沢そのみさん 新聞とテレビに出ました。
布施 富将 君 山形中央倫理法人会の会長になりました。



例会場/ホテルキャッスル 例会日/毎週火曜日 12:30 ~ 13:30

事務所/山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200



『レジャーの変遷と震災の影響について』

ホテル萬国屋代表取締役社長 石田 照雄 氏

皆さんこんにちは。萬国屋の石田です。昭和40年大学を卒業いたしました。当時は大学を出てホテル・旅館・遊園地などを含めたレジャー産業に就くとなんでそんな所に就職するんだと言われました。3Kの労働条件の中で誇りをもてる産業にしたいという思いの元で40年やってまいりました。

東京のレジャーの変遷、これはある意味で日本のレジャーの変遷と同じです。レジャーの始まりは伊勢参りだと言われております。伊勢神宮をお参りしてその後でいろいろなところで遊んでくる。40年代当時は、東京タワー、後樂園球場、豊島園、などのレジャー施設、浅草寺などの神社仏閣、シンボリックなタワーや球場、遊園地などがレジャーの中心でした。ところが20年ほど前ディズニーランドがオープンしました。私どもがやっておりました後樂園遊園地、当時は200万人の来場者がありました。ディズニーランドがオープンいたしましたら80万人まで減ってしまいました。アメリカ型の広大な敷地を利用したレジャーランドがオープンしたことによって我々が築いてきたレジャーが吹き飛んでしまった。レジャーそのものの変革が迫られる中、我々も危機感を持って、後樂園球場を屋根付のドームにして東京ドームホテルをオープンさせ、表参道の整備に努め裏参道として場外馬券場などもあります。ところが、いわゆる東京旅行の中に銀座の近くに泊まって買い物を楽しんだり、青山、原宿、表参道を楽しもうという企画や、お台場、恵比寿、代官山など『街』そのものがレジャーゾーンとして台頭してきたわけです。15年ほど前から東京ドームホテルに泊まっていたいただいたお客様や、ハトバスのお客様が昼食を召し上がった後、根津神社や谷中の霊園、竹下夢路の美術館とか上野公園の西洋美術館を見て歩く、私ども通称、谷根千と呼んでますが、谷中、根津、千駄木、谷根千という雑誌も出ております。非常に大きなレジャーランドができる中、私どもの先達が築いてきた歴史や美術、食べ物などを散策する流れができてまいりました。実はこの流れが少子高齢化が進む中、団塊の世代が60歳を過ぎてより良い文化に触れて勉強した

い、生涯学習的に今後の人生を送ろう、また高齢化の中にいる人たちの考え方が変わってきている。

これまで東京にいますと、自然に触れ合う機会というのはなかなか無いんですけど、震災以降アンケートをとってみると、これまで山形では蔵王、山寺、最上川、この3つが山形県における観光の大きな存在です。あつみ温泉のある庄内地方では、羽黒山、本間美術館くらいで残りの観光地はあまり関心をもたれていなかった。それが震災以降興味を持つ方が増えてきた、鳥海山にトレッキングがしたいなど、少しずつ変化が出てきています。

3月11日の震災、福島原発事故で私どもの旅館でも3、4、5の3ヶ月間で約1万人のキャンセルがございました。福島の旅館では営業をやめたところも出ております。宮城、岩手も同様です。ですが復興支援の関係で宿泊率、人員稼働率は震災前よりもいいところもあります。ただし復興支援ですので宿泊費が安いため客単価が低い。そのためサービスの見直しや組織体制を見直し、従業員を半分にしたところもあります。これから一般のお客様を迎えるにあたって、一度落としたサービスなどをどうやって元に戻すかなどに非常に関心が入っております。新潟、庄内、秋田などはほとんど被害を受けておりません。その中で残念ながら庄内は交通のアクセスがあまりよくない。3、4、5、6月と来客者数も対前年割れをしていたしました。特に団体のお客様の落ち込みが激しい。個人のお客様はこのような状況の中でも回復が早いです。今回の震災がトラウマになっているのか太平洋側でなく日本海側に来られるお客様が多いようです。その中で、高齢化といわれる中ネットでの予約が増えてきています。従来は店頭での予約のほうが多かったんですが、今はネットでの予約のほうが多いくらいです。これから先個人のお客様はネット中心、団体のお客様に関してのみ旅行代理店を通す形になるのではないかと思います。私どももその変化に対応した営業スタイルを考えなければいけないと考えております。

今日はありがとうございました。

○本日出席・前回修正出席 **出席率 100%ありがとうございました。引き続きご協力お願いします！**

	会 員 総 数	出席義務会員数	出席会員数	出 席 率
本 日	5 4 名		4 0 名	
前回修正	5 4 名	4 5 名	4 5 名	1 0 0 %
他クラブで メイクアップ された 会 員	(山形北) 渋谷 一男 鈴木 利明	阿部 薫 大久保章宏	川合 賢助 相沢そのみ 土田 貴英	谷口 義洋